

JAPIC NEWS

6

2012 | No.338

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC**
Japan Pharmaceutical Information Center

Contents

■巻頭言

「はだかになった地図」

医療法人社団 明芳会イムス三芳総合病院 薬剤科 JAPIC評議員 佐藤 秀昭 …… 2

■インフォメーション

「平成24年度JAPICユーザ会」開催のご案内 …… 4

第138回薬事研究会 開催のご案内 …… 4

出展情報 平成24年度出展学会のご案内 …… 5

「JDM Extraサービス」検索精度を高めます! …… 5

■トピックス

JAPICサービスの紹介

日本の新薬 …… 6

■海外で承認された医薬品 (19) …… 8

■コラム

薬剤師の現場「薬事情報センターの業務と長崎県での取り組みについて」

社団法人長崎県薬剤師会薬事情報センター 橋本 有以子 …… 10

会員の声「食品、医薬品と健康、スポーツ」

株式会社ヤクルト本社 医薬安全性情報部 坂本 智紀 …… 12

くすりの散歩道 No.57 「「痛く」て「辛い」薬の思い出」

(一財)日本医薬情報センター 事務局業務渉外担当 原 朋美 …… 13

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) …… 14

■図書館だよりNo.264 ■情報提供一覧 …… 15

はだかになった地図



医療法人社団 明芳会イムス三芳総合病院 薬剤科
JAPIC評議員 佐藤 秀昭 (Sato Hideaki)

震災から1年が経過し、道路が整備され、新しいお店が建ち、地元企業も再開、国の予算も付き、復興に向け動き出している。今、小江戸「川越」の街から、数年後、活気にあふれ住みやすい新しい街（石巻市）の「地図」を思い描きながら、過ぎ去った1年を振り返って「悲喜こもごも」と考えてみた。

4月から、新しい病院（イムス三芳総合病院）に勤務している。自宅は震災前と何も変わっていないのだが生きること、死ぬことへの潜在意識の高まりを感じている。また、地震への恐怖や不安への許容範囲が非常に狭くなった反面、鈍感にもなった。このことが自分の避難行動を左右しているような気がする。でも、動物には当てはまらないようだ。私の愛犬ユキちゃんも例外ではない。3.11のユキちゃんは一人でいつものように留守番していて、今まで経験したことのない揺れと家具や本の崩落を経験することになった。その恐怖を引きずり、地震の大小にかかわらず、地震の揺れを感じるコンマ数秒前に、寝ていたら起き上がり、急いで家族のそばに寄ってくるようになった。安心できる所を動物の本能で嗅ぎ分けているようだ。逆に教えているのかもしれない。ユキちゃんは、揺れるコンマ数秒前の音を検知しているのか、何を感じて反応しているのだろうか……。

震災により初めて経験したことの一つに、「機械音」の無い世界を体験した。風、波（空気と水）、動物の鳴き声（人間も含む）など自然の音（地球の音）だけが響く、静寂な原始の時を感じさせる不思議な世界を体感した。

すなわち、人間と生き物が自然と織りなす音色のみの世界を体験した。しかし、この静寂な世界は、これまで経験したことがない不安と恐怖をもたらした。でも、この静けさは一瞬のことであり、やがて至る所でブルなどの機械音が響きわたり、復興の足音が聞こえてきた。特に、8月20日、津波により壊滅した石巻市の基幹企業である日本製紙石巻工場から、バイオマスボイラーに火が入り、その煙突から煙が立ち上がった。この煙を旧病院（石巻市立病院）薬剤部の窓から眺めながら、石巻市の力強い復興の始まりを予感した。

旧病院は、ライフラインが壊滅し、再開不能に陥り復旧・復興から取り残され、1年間静寂に包まれたまま手付かずの状態でも温存されている。薬剤部は2階に在り津波の被害を受けなかった。このおかげで書類の整理、医薬品の管理などの残務、時には原稿の執筆に没頭したい時などは、仮設診療所（旧教育会館）からバイクで瓦礫の中を足繁く通った。現実、この建物、夏は浜風が入り熱源がないので涼しく、冬は石油ストーブで十分温かく、トイレの問題さえなければ心落ち着く居心地良いところであった。ただ地震の度にちょっと不安になった。

昨年、アカデミー賞（作品賞）ほか最多5部門受賞したサイレント、白黒映画「アーティスト」（2011年、フランス、ミシェル・アザナヴィシウス監督）が、2012年4月7日より全国ロードショー（一）が始まった。この映画は、世界中が拍手喝采し世界中を温かい涙とやさしい愛に包み込んだ映画史上最高峰の感動作と評価された。今、IT化の時代、情報に追われ心が逸る時代に心感じる共通する何かがあるようだ。このことは、スローライフへのあこがれにも通じるものがあるのかもしれない。

医療情報を失った薬剤師の困惑さも経験した。この時代、患者さんの医療データが全て消失するという事は、想定外であった。すなわち、治療行為において、おそらく無意識のうちに薬剤師も医療従事者も「必要に応じ患者の医療情報が提供される」ことが当たり前とっていた。事実、津波により、処方薬、お薬手帳などの患者さんがもっている処方情報などがすべて流された。患者さんからは、処方などお薬に関する相談が多く寄せられ、これらの相談に迅速な対応が求められた。一人の薬剤師として、OTC薬、後発品も含め医療用医薬品の品名、規格、適応症（薬効分類）、さらに剤型、色、大きさなど錠剤の識別知識などの多くの知識に基づいた処方提案に追われた。

具体的には、患者さんの病名、症状、飲んでいたお薬の色、形、大きさなどの聞き取り、多くの時間を費やし処方提案（処方起こし）を行った。旧病院の患者さんは、処方データが薬剤部のサーバーに保管されていたので事なきを得た。

仮に処方データを保管していたサーバーが津波で流されていたら……、患者さんの処方提案は困難を極めたと考える。また、「お薬手帳」は、患者本人による処方データをバックアップ保存し持ち歩くことのできる道具として最適だと、改めて価値を再認識し、その普及活動が重要と思った。

また、一人ひとりの患者さんの医療データを保存し管理するデータセンターの立ち上げ、さらに患者さんを受け入れた施設のパソコンや携帯電話から診療データを入手できる仕組みの構築など、災害に強い情報システム

の構築が重要である。この目的達成には、職種間を超え信頼関係を築き、チームをまとめ導いていくための強いリーダーシップが行政に求められる……。震災後、宮城県で立ち上がった医療福祉情報ネットワーク協議会に期待したい。

この1年、多くの仲間（医療従事者）が旧病院から去って行った。今、病院の新築移転（2015年開院予定）に向け数人の仲間が残るのみである。私も、病院を去った一人である。しかし、震災により亡くなられた多くの方々の慰霊と地域の再生に向け、前向きに高いモチベーションで地域の新たな基幹病院として早めの再開を望んでいる。数年前、越智隆弘先生（大阪大学名誉教授）に頂いた著書「運動器機能回復と「想い」」（メディカルレビュー社、2005年）の中に「一つの希望が達成されたときに、より高いレベルの次の希望が生まれることは、常に前向きで高いモチベーションと思う。病気でなくても向上心は大切だが、病気であれば、それに打ち克つ向上心があれば、治療効果がいつそう早く、そして高く得られる」と一人の女性患者から学んだことが書かれていた。今、このことを強く実感している。

これから、「はだかになった地図」に、本来住民が持ちうる能力を駆使し、市がリーダーシップを発揮し、新たな進化を成し遂げた新しい街を書き込んでいただきたい。待ち望んでいます。



〈元気になった愛犬「ユキ」〉

Information

「平成24年度JAPICユーザ会」開催のご案内

■ 日時・会場

東京 平成24年6月14日(木) 13:30~18:30 長井記念ホール

大阪 平成24年6月19日(火) 13:30~18:30 大阪ブリーゼプラザ803+804号室

(大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー8F)

■ プログラム：(東京・大阪)

13:30 主催者挨拶

13:35~13:50 JAPIC事業概況及び平成24年度事業計画

13:50~15:10 平成24年度事業トピックス

①総合検索システム

②JAPIC AERS

③医療機器情報提供サービス

④添付文書(医薬品集CD-ROM、新刊書籍等)

15:10~15:30 休憩 コーヒータイム

15:30~16:00 事例報告 JAPICサービス利用事例

16:00~17:00 特別講演「副作用自動監視システム」(仮題)

福井大学医学部付属病院薬剤部長 教授 政田 幹夫先生

17:00~18:30 懇親会

■ 参加費：無料

■ 申込方法：JAPICホームページ講演会・ユーザ会入力フォームからお申込ください。

■ お問合せ先：事務局 業務・渉外担当 (TEL:0120-181-276)

第138回薬事研究会 開催のご案内

薬事研究会を下記により開催致します。

■ 日 時：平成24年7月3日(火) 14:00~16:30

■ 場 所：日本薬学会長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷2-12-15長井記念館地下)

■ プログラム テーマ：「医療技術評価 (HTA) について」

現状、日本における方向性、問題点の整理など(仮題)

14:00~14:05 主催者挨拶

14:05~15:05 国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター 福田 敬先生

15:05~15:20 休憩

15:20~16:30 エーザイ株式会社ガバメントリレーションズ部 葛西 美恵先生

●演題・講師・時間等、一部変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

■ 参加費：JAPIC会員 1名3,000円 非会員 1名5,000円

■ 申込方法：JAPICホームページ講演会・ユーザ会入力フォームからお申込ください。

出展情報 平成24年度出展学会のご案内

今年度は下記の学会にJAPICの各種情報を出展しご紹介いたします。
皆様のご来場をお待ちしております。

学会名・展示会	期 間	場 所
2012国際モダンホスピタルショウ	H24.7.18 (水) ~20 (金)	東京ビッグサイト東展示棟
第42回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会	H24.8.11 (土) ~12 (日)	パシフィコ横浜 国立大ホール・会議センター
第74回九州山口薬学大会	H24.9.16 (日) ~17 (月・祝)	北九州国際会議場 (北九州市)
第45回日本薬剤師会学術大会	H24.10.7 (日) ~8 (月・祝)	アクティシティ浜松
第22回日本医療薬学会年会	H24.10.27 (土) ~28 (日)	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
第32回医療情報学連合大会	H24.11.15 (木) ~17 (土)	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
第14回図書館総合展	H24.11.20 (火) ~22 (木)	パシフィコ横浜
2012かながわ薬剤師学術大会	H25.1.14 (月・祝)	パシフィコ横浜 会議センター
第133年会日本薬学会	H25.3.27 (水) ~30 (土)	パシフィコ横浜

「JDM Extraサービス」 検索精度を高めます！

JDM Extraは、JDMの記事からユーザー様に予めご登録いただいたキーワードについての情報を検索して個別に提供するサービスです。特定の医薬品に関する記事の見落とし防止などに役立ちます。

一方で、広く情報を収集したい場合など、検索に使用するキーワードによっては意図しない記事も抽出されることがあり、日頃よりユーザーの皆様から改善してほしいという要望をいただきました。

要望の一例

『「ofloxacin」に関する記事を抽出したいが、「ciprofloxacin」「levofloxacin」に関する記事は除外したい。』

ユーザー様のご要望にお応えして、この度、不要な情報を選別できるフィルタ機能を追加し、検索の精度を高めることになりました！

近日リリース予定です。詳細は後日ご案内いたします。

❖ JAPICサービスの紹介 ❖

■ 日本の新薬

「日本の新薬」－新薬承認審査報告書集－とは…
「審査報告書」と「審査結果報告書」を収録した新薬承認審査報告書の集大成版!!
新成分・効能追加・新用量・新剤形など全ての申請内容を掲載!!

我が国の医薬品は厚生労働大臣によって製造販売の承認がされます。当該医薬品の審査経過、評価結果等を取りまとめ、「審査報告書」および「審議結果報告書」が作成されます。「審査報告書」は独立行政法人医薬品医療機器総合機構が、「審議結果報告書」は厚生労働省が作成し、承認後は医薬品医療機器総合機構ホームページより速やかに掲載することとし、申請資料概要とともにWeb上で公開されています。

これら報告書を紙媒体でじっくり精読したいという要望にお応えし、JAPICでは日本の新薬を発刊しています。平成10年1月～平成18年1月までに公表された審査報告書(350品目)をまとめて薬効別に収載し、平成17年5月に日本の新薬(1～20巻)を発刊しました。以降も年1回発刊し、平成10年1月承認分から平成22年12月までに公表された642品目について、1巻から46巻に収録し発刊しています。21巻から46巻については、承認年月順にまとめ、同じ承認年月の中では成分名の五十音順に編集してあります。各巻とも訂正のある報告書については、本文中に修正前と修正後がわかるように編集しています。

審査報告書は少なくとも新薬の承認時において、批判的判断が加わった最も信頼のおける資料です。本書を今後の新医薬品の開発の計画と実行、薬事対応に役立てていただければ幸いです。また、臨床試験における副作用に対する考え方や判断のポイントなど、添付文書やインタビューフォームではわからない情報もあり、市販後調査部門や医療機関においても重要な情報(判断を伴った)が満載です。さらに、医薬品にはどのような試験が必要か、その手順など医学・薬学教育においても参考にしていただけるものと確信しております。

これを機会に「日本の新薬」－新薬承認審査報告書集－をご利用いただければ幸いです。



「日本の新薬」－新薬承認審査報告書集－全文テキストデータを
iyakuSearch (JAPIC医薬品情報データベース) から無料公開!!

冊子体同様、平成10年1月以降に公表された報告書の**新成分・効能追加・新用量・新剤形**など総ての申請・審査内容を含みます。冊子体の発刊は年1回ですが、iyakuSearch上の更新は随時行っており、平成24年4月現在663件のデータが蓄積されています。

- ・審査報告書の全文検索と参照が可能
- ・医薬品名などで検索した結果の**販売名・承認年月・薬効分類名・会社名・一般名・剤形・承認番号**一覧などのダウンロードが可能

ご利用は無料です。資料作成の際など、是非ご利用下さい。

検索結果の表示 : 検索ボタンを押しますと検索結果一覧が表示されます

JAPIC 日本の新薬 新薬承認審査報告書DB iyakuSearch
[JAPICトップページへ] [日本の新薬の使い方]

検索条件表示 (検索結果: 36件)

年月日: 2011年01月~2011年12月

10件表示 再表示 文字サイズ: 小 中 大

No	販売名	承認年月日	薬効分類名	会社名	一般名	剤形	承認番号
1	<input checked="" type="checkbox"/> キュビシン静注用350mg	2011年07月01日	611 主としてグラム陽性菌...	MSD株式会社	ダブトマイシン	1/バイアル (10mL) ...	22300AMX00604000
2	<input checked="" type="checkbox"/> オンプレス吸入用カプセル150µg	2011年07月01日	225 気管支拡張剤	ノバルティスファーマ株式会社	インダカテロールメレイン酸塩	1カプセル中にインダ...	22300AMX00603000
3	<input checked="" type="checkbox"/> ガーダシル水性懸濁液注... ガー...	2011年07月01日	631 ワクチン類	MSD株式会社	組換え沈降4価ヒトパピローマ...	1/バイアル又は1シ...	22300AMX00600000
4	<input checked="" type="checkbox"/> アレロック顆粒0.5%	2011年07月01日	449 その他のアレルギー用薬	協和発酵キリン株式会社	オロパタジン塩酸塩	1g中にオロパタジン...	22300AMX00595000
5	<input checked="" type="checkbox"/> ガバベン錠200mg、ガバベン...	2011年07月01日	113 抗てんかん剤	ファイザー株式会社	ガバベンチン	ガバベン錠200mg...	21800AMZ10365000
6	<input checked="" type="checkbox"/> トラムセット配合錠	2011年04月22日	114 解熱鎮痛消炎剤	ヤンセンファーマ株式会社	トラマドール塩酸塩 アセト...	1錠中にトラマドール...	22300AMX00552000
7	<input checked="" type="checkbox"/> リバクレオン顆粒300mg分...	2011年04月22日	233 胃消化剤	アボットジャパン株式会社	パンクレリパーゼ	①1包中にパンクレリ...	22300AMX00549000
8	<input checked="" type="checkbox"/> リクシアナ錠15mg、リクシア...	2011年04月22日	333 血液凝固阻	第一三共株式会社	エドキサバントシル酸塩水和物	1錠中、エドキサバ...	22300AMX00547000
9	<input checked="" type="checkbox"/> ミラベックスLA錠0.375mg...	2011年04月22日	116 抗パーキンソ	日本ベーリンガーインゲルヘル...	プラミベキソール塩酸塩水和物	1錠中、プラミベキ...	22300AMX00541000
10	<input checked="" type="checkbox"/> イクセロンパッチ4.5mg、同バ...	2011年04月22日	119 その他の中枢神経系用薬	ノバルティスファーマ株式会...	リバスチグミン	1枚中、リバスチグ...	22300AMX00529000

先頭ページ 前ページ 全 36件中 1 - 10件を表示 次ページ 最終ページ

チェックされた項目の **全文表示** **一覧のダウンロード**
項目選択表示 項目選択ダウンロード 検索画面に戻る

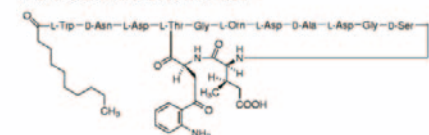
A 全文表示

検索一覧に戻る 閉じる

キュビシン静注用350mg 平成23年7月承認

PDF表示

- 承認番号: 22300AMX00604000 経文又は経文の経緯及び別品名に関する資料 薬効に関する資料
- 2 オンプレス吸入用カプセル150µg PDF表示 承認番号: 22300AMX00603000 経文又は経文の経緯及び別品名に関する資料 薬効に関する資料
- 3 ガーダシル水性懸濁液注、ガーダシル PDF表示 承認番号: 22300AMX00600000 経文又は経文の経緯及び別品名に関する資料 薬効に関する資料
- 4 アレロック顆粒0.5% PDF表示 承認番号: 22300AMX00595000 経文又は経文の経緯及び別品名に関する資料

【販売名】 キュビシン静注用350mg
 【一般名】 ダブトマイシン
 【申請者】 富寿製薬株式会社(現、MSD株式会社)
 【申請年月日】 平成22年8月27日
 【剤型・含量】 1/バイアル (10mL)中にダブトマイシン350mg含有する注射剤
 【申請区分】 医療用医薬品(1)新有効成分含有医薬品
 【化学式構造】 
 分子式: C₇₂H₁₀₁N₁₇O₂₆
 分子量: 1620.67
 【化学名】

一覧の内、表示したい医薬品名にチェックをいれ(デフォルトでは表示されずすべての医薬品にチェックが入っていますので一度解除してください)、「全文表示ボタン」をクリックします。
*項目選択表示画面より、表示内容を絞っていただくことができます。

B 一覧のダウンロード

承認年月日	承認番号	販売名	一般名	剤形	会社名	薬効分類
2011年7月1日	22300AMX00604000	キュビシン静注用350mg	ダブトマイシン	1/バイアル(10mL)	MSD株式会社	611 主としてグラム陽性菌...
2011年7月1日	22300AMX00603000	オンプレス吸入用カプセル150µg	インダカテロール	1カプセル中にイン...	ノバルティスファ...	225 気管支拡張
2011年7月1日	22300AMX00600000	ガーダシル水性懸濁液注	組換え沈降4価ヒトパピローマ...	1/バイアル又は1シ...	MSD株式会社	631 ワクチン類
2011年7月1日	22300AMX00595000	アレロック顆粒0.5%	オロパタジン塩酸塩	1g中にオロパタジ...	協和発酵キリン	449 その他のア...
2011年7月1日	21800AMZ10365000	ガバベン錠200mg、ガバベン...	ガバベンチン	ガバベン錠200mg	ファイザー株式...	113 抗てんかん...
2011年4月22日	22300AMX00552000	トラムセット配合錠	トラマドール塩酸塩	1錠中にトラマド...	ヤンセンファーマ	114 解熱鎮痛消...
2011年4月22日	22300AMX00549000	リバクレオン顆粒300mg分	パンクレリパーゼ	①1包中にパンク...	アボットジャパン	233 胃消化剤
2011年4月22日	22300AMX00547000	リクシアナ錠15mg、リクシア...	エドキサバントシル酸塩水和物	1錠中、エドキサ...	第一三共株式...	333 血液凝固阻
2011年4月22日	22300AMX00541000	ミラベックスLA錠0.375mg	プラミベキソール	1錠中、プラミベ...	日本ベーリンガ...	116 抗パーキン...
2011年4月22日	22300AMX00529000	イクセロンパッチ4.5mg、同バ...	リバスチグミン	1枚中、リバスチ...	ノバルティスファ...	119 その他の中...

「一覧のダウンロードボタン」をクリックすると、一覧で表示されている内容をcsvファイルでダウンロードし利用することができます。

* 検索方法が分からない場合は、画面右上の「日本の新薬の使い方」をクリックし、ヘルプ画面をご参照下さい。

海外で承認された医薬品(19)

JAPICでは、医薬品の有効性・安全性・規制・承認に関する海外の情報を収集し、各種媒体で提供を行っております。本シリーズでは、海外で承認された医薬品のうち、米国、EUにおける新有効成分 (New Molecular Entity : NME) 医薬品を中心に随時紹介します。

◆米国：ゴーシェ病治療薬Elelyso (taliglucerase alfa) 承認 承認日：2012年5月1日

米国FDAは、Pfizer Inc. とProtalix BioTherapeutics のElelyso (taliglucerase alfa) を承認した。まれな遺伝性疾患である1型ゴーシェ病と確定診断された成人の長期酵素補充療法に使用される。Elelysoの有効成分taliglucerase alfaは加水分解リソソームグルコセレブロシダーゼ特異酵素である。注射用凍結乾燥粉末で、推奨用量は60 U/kgを2週間に1回、60-120分静脈内注入。Elelysoはオーファンドラッグ (希少疾病用薬) として指定されている。米国ではおよそ6000人が1型ゴーシェ病と推定されている。

Elelysoの有効性と安全性は2つの臨床試験に登録された1型ゴーシェ病の患者56例を対象に実施された。Study 1では、初期治療としてのElelysoの有効性を、酵素補充療法歴のない31例を対象に、9ヵ月間の多施設二重盲検無作為化試験において評価した。患者は30 U/kgまたは60 U/kgのいずれかの用量を投与された。両投与量において、Elelysoはプライマリエンドポイントの脾臓容積の減少に有効で、治療9ヵ月後に30 U/kg投与群ではベースラインから平均29%、60 U/kg投与群ではベースラインから平均40%減少した。肝臓容積、血小板数、ヘモグロビン値の改善も認められた。Study 2では、他の酵素補充療法であるimigluceraseからElelysoにスイッチした患者25例を対象に、Elelysoの有効性を9ヵ月間の多施設オープンラベルシングルアーム試験において評価した。患者は少なくとも2年間、11 U/kg~60 U/kgの用量でimigluceraseによる治療を受けていた。

Elelysoは9ヵ月間の評価期間中、脾臓および肝臓の容積、血小板数、ヘモグロビン値の維持に有効であった。

Elelysoによる最も一般的な副作用はinfusion reaction (頭痛、胸痛または脱力、疲労、胸部不快感、蕁麻疹、皮膚発赤、血圧上昇、背部痛、関節痛、顔面紅潮など)、アレルギー反応であった。他の静脈内投与のタンパク製剤と同様にアナフィラキシーが発現した患者も数例みられた。その他の副作用として上気道感染症、鼻咽頭炎、インフルエンザ、四肢疼痛、尿路感染症なども認められた。

◆米国：透析施行患者における貧血治療薬 Omontys (peginesatide acetate) 承認 承認日：2012年3月27日

米国FDAは、Affymax Inc. のOmontys (peginesatide acetate) を承認した。透析を行っている慢性腎疾患 (CKD) の成人患者の貧血の治療に1ヵ月に1回使用される。Omontysの有効成分peginesatide acetateはエリスロポエチン受容体作用薬で、赤血球産生を促進する合成ペプチド (ESA) のPEG化製剤である。2mg/0.5mL、3mg/0.5mL、4mg/0.5mL、5mg/0.5mL、6mg/0.5mLのシングルユースバイアルで、現在ESA治療を受けていない貧血患者に対する推奨開始用量は0.04mg/kgを1ヵ月に1回静注または皮下注。

Omontysの有効性と安全性は、透析を行っているCKD患者1608例を対象に、2つの無作為化実薬対照多施設オープン試験において検討された。患者はOmontysを1ヵ月に1回投与、または試験参加時に投与さ



れていたESA (epoetin) を1~3回/週、継続投与のいずれかに無作為化された。有効性プライマリエンドポイントはベースラインと評価期間 (29~36週) の間のヘモグロビン値の変化とした。Omontys投与は、目標ヘモグロビン値内 (10~12g/dL) の維持においてepoetin投与と同等であった。輸血を受ける患者の割合は両治療群において同様であった。

Omontysによる最も一般的な副作用は下痢、嘔吐、高血圧、関節痛であった。枠囲み警告として、ESAは死亡、心筋梗塞、卒中発作、静脈血栓塞栓症、血管アクセスの血栓症、および腫瘍の進行または再発のリスクを増大することが表示に記載される。OmontysにはREMS、Medication Guideが要求された。

(EU:申請中、国内:Phase III (中断))

**◆EU:メラノーマ治療薬Zelboraf
(vemurafenib) 承認
承認日:2012年2月17日**

EU・EMAは、Roche Registration Ltd. のZelboraf (vemurafenib) を承認した。BRAF V600遺伝子変異陽性の成人患者における、切除不能または転移性メラノーマの治療に使用される。Zelborafの有効成分vemurafenibは選択的B-Rafキナーゼ阻害作用を有する低分子化合物で、BRAFの変異型B-Raf^{V600E}を標的とする。Zelborafは240mgの錠剤。推奨用量は960mg (4錠) を1日2回経口投与で、初回投与 (朝) の約12時間後に2回目の投与 (夜) を行う。治療開始に先立ち、患者の腫瘍がBRAF V600遺伝子変異陽性であることを確認

するための検査を実施しなければならない。

Zelborafの有効性と安全性は、BRAF V600遺伝子変異を有し、腫瘍の拡大があるかまたは切除不能のメラノーマ患者675例を対象に、一つの主要な試験において抗がん剤dacarbazineと比較検討された。治療は、疾患が増悪するかまたは薬剤の毒性が強くなるまで、可能な限り継続した。有効性の主要評価項目は全生存期間および無増悪生存期間とした。

Zelborafは患者の延命および疾患増悪の遅延において有効であることが示された。Zelboraf投与患者の平均生存期間は13.2ヵ月、dacarbazine投与患者の平均生存期間は9.9ヵ月であった。疾患増悪までの期間はZelboraf群5.3ヵ月、dacarbazine群1.6ヵ月であった。

Zelborafによる最も一般的な副作用は関節痛、疲労感、発疹、光線過敏反応、嘔気、脱毛、掻痒であった。Zelboraf投与により別のタイプの皮膚がんである皮膚扁平上皮癌を発現した患者もみられたが、局所手術により良好に治療された。Zelborafのリスクに関して、投与患者の約半数に重度の副作用が発現し、約1/5に皮膚扁平上皮癌がみられたが、EU・CHMPはその副作用は管理可能であると見なし、そのリスクを低減するため製品情報に医師向けのアドバイスを加えた。CHMPは、Zelborafのベネフィットはリスクを上回ると結論し承認を勧告していた。

(米国:2011年8月17日承認、国内:Phase I)

出典:Drugs@FDA, FDA News Release, EU・EMA
EPARなど

(医薬文献情報担当・海外)

薬剤師の現場

薬事情報センターの業務と 長崎県での取り組みについて



社団法人長崎県薬剤師会薬事情報センター
橋本 有以子 (Hashimoto Yuiko)

社団法人長崎県薬剤師会薬事情報センター（以下、情報センター）は、昭和55年4月に開設され、現在3名の薬剤師が在籍し、主に医薬品・薬事情報全般に係る情報提供等の業務を担当しています。本稿では、情報センターの業務の概要と、本会会員薬剤師の活動状況についてご紹介したいと思います。

<業務の概要>

・相談窓口

当情報センターには、長崎県薬剤師会の会員をはじめとする医療関係者、一般の方より年間約2000件の問い合わせが寄せられます。平成16年より公開している一般消費者専用の薬相談窓口は、薬剤師会ドーピング防止ホットラインを兼ねており、医薬品の安全性、適正使用等から健康食品、ドーピング防止に関する問い合わせまで幅広く対応しています。

医療関係者、特に薬剤師からは診療報酬に関する相談が最も多く、今年には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われたことから、ここ1、2ヵ月はその対応に追われる日々でした。問い合わせの多い事項については、会報誌、ホームページ、メール配信等を利用して、情報の共有を図るよう努めています。

一般の方からの問い合わせでは、処方薬について副作用や相互作用を心配する相談を多く受けます。よくお話を聞いてみると、かかりつけ医師や薬剤師とうまくコミュニケーションがとれずに、不安を抱えている場合があります。患者さんがよりよい診療をうけるためには、医療従事者とのコミュニケーションは欠かせません。相談窓口では、薬の説明だけでなく、患者さんと医療従事者が良好な関係を築けるよう、コミュニケーションの方法をアドバイスすることも重要だと感じています。

・会員等への情報提供

インターネットの普及により、薬局で医薬品情報が簡単に入手できるようになった反面、ネット上ではありとあらゆる情報があふれています。情報センターでは、情報の案内役として、精査した情報を、会員のニーズにあわせた方法で提供することを心がけています。

①薬事情報センターだより

本会会誌「ながさき県薬だより」に、昭和55年7月より、「薬事情報センターだより」として掲載を開始し、毎月、安全性情報・医薬品情報を中心に提供しています。

②「医薬品情報」誌

医薬品の有効性、安全性の確保と副作用発生の防止をはかる目的で、医薬品・医療機器等安全性情報をはじめとした、各種安全性情報と新薬情報（薬価収載情報、経過措置を含む）を中心に掲載し、年2回、会員薬局及び病院・診療所等、県下医療機関へ配布しています。

③長崎県薬剤師会ホームページ、県薬メール配信システム（NPAメール）

シーボルト直筆の処方箋（ご興味のある方は是非クリックしてみてください）が目印の本会ホームページでは、一般・会員に向けた医薬品の安全性・適正使用、薬物乱用防止の情報等を発信しています。また、情報センターで入手した医薬品の安全性・適正使用情報等の各種情報は、NPAメールで配信し、会員専用ページ新着情報として時系列で掲載する等、日々の業務に

活用していただけるよう努めています。

・ドーピング防止活動

これまで、情報センターでは、前述した薬剤師会ドーピング防止ホットラインとして選手・監督・コーチからのドーピングに関する相談対応、財団法人長崎県体育協会スポーツ医・科学委員会への協力、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の活動に協力し、スポーツファーマシスト推進活動を行ってきました。

長崎県は、平成26年に国民体育大会（長崎がんばらんば国体）の開催を控えており、本会も、今年度より準備委員会を立ち上げ、国体に向けた活動も本格化しています。長崎国体は、県内各市町で競技が行われることから、離島を含めた各地域の組織づくりを行い、地域でのドーピング防止啓発活動をすすめていきたいと考えています。

日本のドーピング違反のほとんどは、本人が意図しない「うっかりドーピング」だとされています。本人はつい「うっかり」という気持ちでも、禁止薬物が検出されるとドーピングとみなされ、出場停止、競技成績取り消しなどの厳しい処分が科せられます。ドーピング防止ホットラインに寄せられる相談では、生薬・漢方製剤、健康食品、サプリメントに関するものも多く、薬剤師として、選手が最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、競技会前後だけでなく、日常の健康管理の面からサポートしていく必要性があると感じています。

<長崎県での取り組み>

長崎と聞いて、「坂」「離島」をイメージされる方は少なくないと思います。そのどちらにも共通するのが、住民の高齢化、通院困難という現状です。このような地域特性から、長崎県では本会及び会員薬剤師によるさまざまな取り組みが進められていますので、その一部をご紹介します。

・あじさいネット

あじさいネットとは、患者の同意のもと、広域病院の診療情報を複数の医療機関で共有することができる、地域医療連携ネットワークサービスです。加入施設では広域病院の検査・診断・治療内容・説明内容等を見ることが出来ます。平成16年に長崎県大村市での運用が開

始され、その後、平成21年に長崎市、平成23年に上五島での運用が開始される等、県下全域に広がりを見せています。

本会では、薬局の参加を積極的にすすめており、2012年3月現在、長崎県内の17薬局が加入しています。あじさいネットを利用することで、特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の安全管理・服薬指導の実施、在宅医療における患者情報の共有が図られ、薬剤師の地域医療への積極的な参加につながっています。

・離島での一般用医薬品使用実態調査

長崎県は多くの離島を抱えており、その状況を把握するため離島対策委員会を本会に設置しています。委員会では、「離島における一般用医薬品使用実態・ニーズ調査と医薬品供給・管理・適正使用推進への提案」の調査研究を実施し、現在は第2弾として、薬局・薬店が存在しない二次離島（大離島の周囲に点在する小離島）の訪問調査を行っています。

・在宅医療推進の取り組み

本会では、在宅医療委員会を中心に、薬剤師の在宅訪問活動について広く啓発するポスターの作成（本会ホームページに掲載しています）、在宅医療に関する研修会の開催や実態調査など、薬局薬剤師の在宅医療推進について、さまざまな取り組みを行っています。また、会員薬剤師の取り組みとして、小規模薬局の連携により訪問薬剤管理指導の依頼を受け入れる「長崎薬剤師在宅医療研究会（P-ネット）」の活動も行われています。

・最後に

今回の診療報酬・介護報酬改定では「小規模薬局間の連携による在宅業務の評価」として、サポート薬局による在宅薬剤管理指導業務が認められるなど、在宅医療に関する充実が図られました。これにより、薬局薬剤師による地域医療への参画、多職種連携の推進が考えられます。

そこで会員薬局が、患者さんへのさらなる良質な医療の提供ができるように、情報センターとしてサポートに力を入れていきたいと思っています。

会員の声



食品、医薬品と健康、スポーツ

株式会社ヤクルト本社 医薬安全性情報部
坂本 智紀 (Sakamoto Tomonori)

事業内容

ヤクルトという乳酸菌飲料や野球のスワローズが有名ですが、医薬品事業については一般的にはあまり知られていないと思います。なお、株式会社ヤクルト球団は株式会社ヤクルト本社の関連会社です。

「私たちは、生命科学の追及を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念、「予防医学」、「健腸長寿」の考え方に基づいて食品事業は乳製品乳酸菌飲料、ジョア、ミルミルなどの、はっ酵乳のプロバイオティクス製品を中心として、審美麗茶などの生活習慣病予防の機能性に優れた飲料や女性向け美容ドリンクCHOBIなど様々な清涼飲料水を販売しています。海外では32の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料の販売を行っています。

化粧品事業は、乳酸菌はっ酵エキス、ビフィズス菌はっ酵エキスと高分子ヒアルロン酸、皮膚の細胞間脂質の研究から生まれたラメラ粒子などの保湿成分を配合した基礎化粧品を中心に開発し、主にヤクルトビューティーやヤクルトレディーを通して販売しています。

医薬品事業はカンプト、エルプラットを中心とする抗がん剤などの医療用医薬品、ヤクルトBL整腸薬などの医薬部外品、一般用医薬品としてアロエ錠MYを販売しています。特にカンプト、エルプラットは大腸癌の治療において中心的な薬剤となっており、オンコロジーカーンパニーとして医療への貢献を目指しています。

担当業務

入社当初は医薬品開発部門でモニターとしてカンプトの製造承認申請などに関わり、その後、データマネジメント、QCなどを経験し、現在では治験薬の安全性情報を

担当し、治験中の重篤な有害事象や海外提携企業から送られてくる重篤な有害事象、収集した文献などとともに海外における措置情報の評価を行っています。同じ部署のその他の業務としては、市販薬の国内・国外から収集した安全性情報の評価・措置、インタビューフォームの作成や医療機関への情報提供、市販後調査の企画、進捗管理、集計などを行っています。

JAPICの情報利用

JAPICのDaily Mailを主に、海外における措置情報の情報源として弊社の薬剤に関連のあるものを抽出し利用しております。また、JAPICのiyakuSearchPlusで治験薬について文献学会情報の検索を行っています。その他、JAPICの講演会なども業務に関連する情報入手に活用しています。

自己紹介

小学校からサッカーを始め、社会人となってからも40歳頃まで続けていました。学生の頃、日本はまだアマチュアで代表の試合のチケットを取るのも比較的簡単でした。Jリーグが始まり、ワールドカップ予選の代表戦、ワールドカップアメリカ本大会決勝トーナメントやイタリアのリーグ戦を見に行ったこともありました。最近はアルゼンチン代表との親善試合を観戦したのが最後で専らテレビ観戦だけになっています。去年はなでしこジャパンが世界一の栄冠に輝き、今年のロンドンオリンピックでは男子よりも女子に期待しています。

くすりの散歩道

NO.57

「痛く」て「苦い」薬の思い出

(一財)日本医薬情報センター 事務局業務渉外担当
原 朋美 (Hara Tomomi)



子供の頃の話。受験直前にうかつにも風邪を引いてしまいました。すぐに近所の耳鼻咽喉科医院へ行くと、母から試験直前であることを聞いた医師は「早く治した方がいいね」と言って、いつもとは違う抗生物質を処方しました。薬が良く効いたのか、数日ですっかり元気になり安心していたのですが…。

ちょうど薬を飲み終わった頃、お昼を食べ終わってしばらくするとお腹に鈍い痛みを感じました。当時はお腹が弱かったため、お昼に食べた物にあたったのだと思いました。一度トイレに行きましたが、その後も痛みがひどいところか強くなる一方。どんな体勢になっても和らぐことはありません。そのうち激しい痛みに耐え切れず嘔吐してしまいました。何度も嘔吐し、吐くものがなくなり胃液しか出なくなっても痛みは治まりません。お腹を押さえてうずくまりながら、このまま死ぬのではないかと本気で思うほどの強烈な痛みでした。

1~2時間ほど一人で苦しんでいたでしょうか。ようやく両親が異変に気付きました。私の苦しみ方を見て「盲腸炎ではないか」と疑います。慌てた両親は病院で外科医をしている知人に電話を掛け、「娘が盲腸炎かもしれません!」と訴えました。その方は「盲腸炎だった時はすぐに手術するので連れてきなさい。試験日までには退院できるようにするから」と約束して下さったそうです。(「たらい回し」が問題になっている昨今では考えられないこと。良い時代だったようです。)

ひとまずかかりつけの小児科へ連れて行かれました。小児科の医師は注射器を手に取り、「この注射が効かなかったら盲腸炎だよ」と言いました。注射は大嫌いでしたが、薬にもすがる思いで打ってもらいました。

翌朝目が覚めると、昨日の痛みがウソのようにすっかり無くなっていました。いったい何だったのか分か

らないまま、処方された白い粉薬を服用しました。しばらくすると食事も通常通り食べられるようになり、2週間後、無事試験を迎えることができました。しかし受験が終わった後、気が抜けたせいにかまたあの痛みが再発してしまいます。盲腸炎の疑いも晴れていなかったため、今度は病院で検査を受けることになりました。

採血をしたのですが、ここで悲劇が。量が足りなかったらしく、看護師さんが血液を搾り出すため私の腕をグイグイとしごき始めたのです。その間注射器は腕に刺さったまま。刺さっている痛みは感じませんでしたが、しごかれるのが痛くて涙が出ました。そんな痛い思いをしたのに結局採ることはできず、足りない分はもう片方の腕から採る羽目になりました。

散々な目に遭った採血でしたが、幸いにも白血球の数値に異常はなく盲腸炎ではありませんでした。診断結果は「急性胃炎」。風邪を引いた際に処方された抗生物質が原因ではないかとのことでした。いつもより作用の強い薬だったようで、胃が荒れてしまったようです。自分では自覚していませんでしたが、入試直前でストレスもあったのかもしれません。

病院では緑色の粉薬(JAPIC職員に何の薬か聞いてみたところ、メサフィリンではないかとのこと)を処方されました。この薬が苦い!でもまたお腹が痛くなるのは嫌。1日3回、毎回苦さを我慢しながら飲み続け、おかげで今度は完治することができました。まさに「良薬口に苦し」です。

薬で副作用が起きたのは、後にも先にもこの1回だけ。25年以上経った今でも忘れられない「痛く」て「苦い」薬の思い出です。

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より – (抜粋)

2012年4月2日～4月27日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.347-350)の記事から抜粋

■米FDA

- drospirenoneを含有する経口避妊薬の表示改訂：高い血栓リスクと関連している可能性がある
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm299605.htm>>
- 米FDA、fentanyl経皮システム（パッチ）への意図しない暴露により生命を脅かす悪影響が生じる可能性について一般に対し再度注意喚起
<<http://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/ucm300747.htm>>
- aliskiren含有医薬品のDrug Safety Communication：ACE阻害剤、ARBとの併用に関する新たな警告と禁忌について
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm301120.htm>>
- Victrelis (boceprevir) とritonavirブーストHIVプロテアーゼ阻害剤の薬物相互作用についてのDrug Safety Communication：併用投与は推奨されない
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm291144.htm>>

■Health Canada

- Benzocaine含有製品：製品ラベルに追加する新たなリスク（メトヘモグロビン血症など）の記述について
<http://www.hc-sc.gc.ca/ahc-asc/media/advisories-avis/_2012/2012_52-eng.php>
- Takeda Canada, Inc.のACTOS (pioglitazone hydrochloride)：膀胱癌と関連している可能性について
<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/alt_formats/pdf/medeff/advisories-avis/prof/2012/actos_3_hpc-cps-eng.pdf>

■EU・EMA

- European Medicines Agency、Gilenya (fingolimod) による心臓への有害事象リスクをより良く管理するための新たなアドバイスを発表
<http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Press_release/2012/04/WC500125690.pdf>

■独BfArM

- 抗てんかん薬と骨疾患の発生リスクの増加について
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/stufenplanverf/Liste/stp-antiepileptika-knochen.html>>
- pioglitazon (Actos、Competact、Tandemact)：規制およびリスク管理に関するガイドライン
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2012/pioglitazon.html>>
- アンジオテンシンII受容体拮抗剤 (sartane)：懸念されていた発癌性は確認されなかったことについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2012/sartane.html>>

■仏Afssaps

- Perfalgan (paracetamol) 静注溶液による過量投与につながる投薬過誤リスク：医療専門家向けレター
<<http://www.afssaps.fr/content/download/40768/531138/version/1/file/lp-1204062-perfalgan.pdf>>
- アルコール依存症の治療におけるbaclofeneの使用に関する情報
<<http://www.afssaps.fr/Infos-de-securite/Points-d-information/Utilisation-du-baclofene-dans-le-traitement-de-l-alcoolol-dependance-actualisation-Point-d-information>>
- 心房細動に対する新規の経口抗凝固剤 (dabigatranおよびrivaroxaban) について：重篤な出血性イベントに関する使用上の注意
<<http://www.afssaps.fr/content/download/41141/535629/version/1/file/Point-Info-Nouveaux+Anticoagulants+Oraux+250412.pdf>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報（海外）担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail（有料）もしくはJAPIC WEEKLY NEWS（無料）のサービスをご利用ください（JAPICホームページのサービス紹介：<<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照）。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当（TEL 0120-181-276）までご連絡ください。

【新着資料案内 平成24年3月22日～平成24年4月24日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越し下さい。

〈配列は書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
薬と食の相互作用 第3巻 薬と食事の相性	澤田康文	医薬ジャーナル社	2012年2月
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究 平成23年度総括・分担研究報告書	研究代表者 吉田俊治		2012年3月
治療薬マニュアル 2012	北原光夫 他編	医学書院	2012年1月
保険薬事典Plus+ (適応・用法付 薬効別薬価基準) 平成24年4月版	薬業研究会 編	じほう	2012年3月
保険薬事典 薬効別薬価基準 平成24年4月版	薬業研究会 編	じほう	2012年3月
ポケット版 臨床医薬品集2012	星 恵子 編	薬事日報社	2012年1月
薬剤識別コード事典平成24年改訂版 (CD-ROM付)	医薬ジャーナル社集部 編	医薬ジャーナル社	2012年2月
薬事ハンドブック2012 薬事行政・業界の最新動向と展望		じほう	2012年3月
American Drug Index 2012 56th ed.	Norman F.Billups	Wolters Kluwer Health	2011年
British National Formulary No.63	Rachel S.M. Ryan	BMJ Publishing Group	2012年3月
COX-2阻害薬の適正使用	佐野 統	フジメディカル出版	2012年3月
Food Chemical Codex Eighth Edition	U.S.Pharmacopeial Convention	U.S.Pharmacopeial Convention	2012年
ViDAL 2012 Le dictionnaire 88ed		Vidal	2012年1月

情報提供一覧

【平成24年5月1日～5月31日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせ下さい。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	http://database.japic.or.jp/
1. [JAPIC Pharma Report—海外医薬情報]	5月4日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. [添付文書入手一覧] 2012年4月分 (HP定期更新情報掲載)	5月2日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. [JAPIC NEWS] No.338 6月号	5月25日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. [JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報] No.830-833 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス)	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. [医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)]	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. [JAPIC-Q Plusサービス]	毎月第一水曜日	7. 学会開催情報	月 2 回
4. [外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)] No.2665-2685	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. [JAPIC Weekly News] No.350-353	毎週木曜日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. [Regulations View Web版] No.238-239	5月11日・25日	〈iyakuSearchPlus〉	http://database.japic.or.jp/nw/index
7. [感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)] No.440-443	毎週月曜日	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
8. [PubMed代行検索サービス]	毎月第一・三水曜日	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
9. [JAPIC医療用医薬品集2012] 更新情報2012年5月版	5月31日	3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		4. Regulations View DB (要:ID/PW)	月 2 回
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈JIP e-infoStreamから提供〉	https://e-infostream.com/
		〈JST JDream II から提供〉	http://pr.jst.go.jp/jdream2/

平成10年1月～平成22年12月承認分までの審査報告書の全文を収録!

日本の新薬

全46巻

— 新薬承認審査報告書集 —



B5判

◆最新の6巻を刊行。全46巻に!!
新薬71品目を追加し、全巻では642品目を掲載。
各巻23,100円(税・送料込)

◆本書は、新薬の承認審査における厚生労働省の『審議結果報告書』および(独)医薬品医療機器総合機構等の『審査報告書』をすべて収録しており、
新薬開発、薬事・市販後対応、医学・薬学教育に!!

◆お得で便利なセットでの購入をお勧めします!!

全46巻セット 1,062,600円(税・送料込)のところ、半額の **531,300円** (税・送料込)
追加分6巻セット 138,600円(税・送料込)のところ、半額の **69,300円** (税・送料込)

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行 ☎ 0120-181-276

丸善出版株式会社 発売 TEL 03-6367-6038

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

Garden

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

きょうちくとう

夾竹桃と書く。学名: Nerium indicum Mill.、英名: Rose Bay。きょうちくとう科きょうちくとう属。原産地はインド、日本に渡来したのは江戸時代。観賞用に栽培され、乾燥や大気汚染に強いので街路樹などに利用されている。花期は6月より9月頃まで続く。葉も枝も有毒。多数の強心配糖体が含まれ、oleandrinの含有量が多く毒性も強い。枝を箸代わりに利用して中毒した例などがある。(hy)



JAPICホームページより
<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。